

「アンネのバラ」を特別公開します

12日、生徒や地域住民の手で大切に守られてきた高井戸中学校の「アンネのバラ」が見頃を迎えています。明日13日からの特別公開に向け、地域住民など10名ほどが枯れた花や花壇の雑草を取り除くなどの作業に取り組んでいました。特別公開は、16日までで入場は無料です。

「アンネの日記」でおなじみのアンネ・フランクは、第二次世界大戦中、ユダヤ人の迫害を逃れるため、家族とともにオランダの隠れ家で生活していました。「アンネのバラ」は、そのときアンネがいつも屋根裏部屋から眺めていた野バラを、ベルギー人の園芸家が品種改良して「アンネ・フランク」と名付け、アンネの父・オットーさんに寄贈したものです。

昭和50(1975)年、高井戸中学校の当時の2年生が、国語の授業で「アンネの日記」を学び、感想文を冊子にまとめて、アンネの父・オットーさんに送ったことから交流が始まりました。翌年の昭和51(1976)年にオットーさんから高井戸中学校にアンネのバラ3株が贈られました。



そのバラは、「アンネのバラ委員会」の生徒と保護者、地域住民が協力しながら大切に育ててきました。40年の年月を経て、3本の苗は大きな株となり、今では約140株まで増えています。また、その魅力は、大輪でつぼみのうちは赤色で花が開くとオレンジ色になり、徐々に花弁が淡いピンク色に変わっていく、そのグラデーションの美しさです。ぜひ、ご家族・友人お誘いあわせのその魅力を実感してみてください。

■高井戸中学校「アンネのバラ」春の特別公開■

【日時】5月13日(土曜)～16日(火曜) 午前9時～正午

【場所】区立高井戸中学校(高井戸東1丁目28番1号)

【費用】無料。直接会場へお越しください。

【その他】車での来場はご遠慮ください。

*5月13日午前11時30分から高井戸中学校吹奏楽部 による野外演奏を予定

【問い合わせ先】 高井戸中学校：03-3302-1762